

2014.11.11-4

押戸石(おしといし) (熊本県阿蘇郡南小国町)

涌蓋山(わいたさん) 1500m

九重連山

押戸石(おしといし)





マゼノミステリーロード
明倫町

マゼノミステリーロード





マゼミステリーロード



縄文の聖地 パワースポット
押戸石の丘 ←
NPO法人押戸石の丘 2KM

マゼンタステリーロード





押戸石

押戸石駐車場まで
マイクロバス通行できます



入場料

(大人お一人様) 200円
(小中学生は半額)

環境保全費として
ご協力お願い致します

NPO法人押戸石の丘



360°の大絶景があなたをお待ちしています。

縄文の聖地・パワースポット

押戸石の丘

The Hill of Oshitoishi



The Hill of Oshitoishi

押戸石の丘巨石群に不思議な線刻文様があることを見つけた南小国町教育委員会は、その調査を日本ペトログラフ協会の吉田信啓会長に依頼、シュメール文字(ペトログラフ)であることが確認されました。その後、この巨石群は人工的に配置された9組の列石遺構であり、先史時代の巨石文化遺跡であることが、ユネスコ岩石芸術学会をはじめ、アメリカやカナダの岩石芸術学会等の国際学会で認証されました。

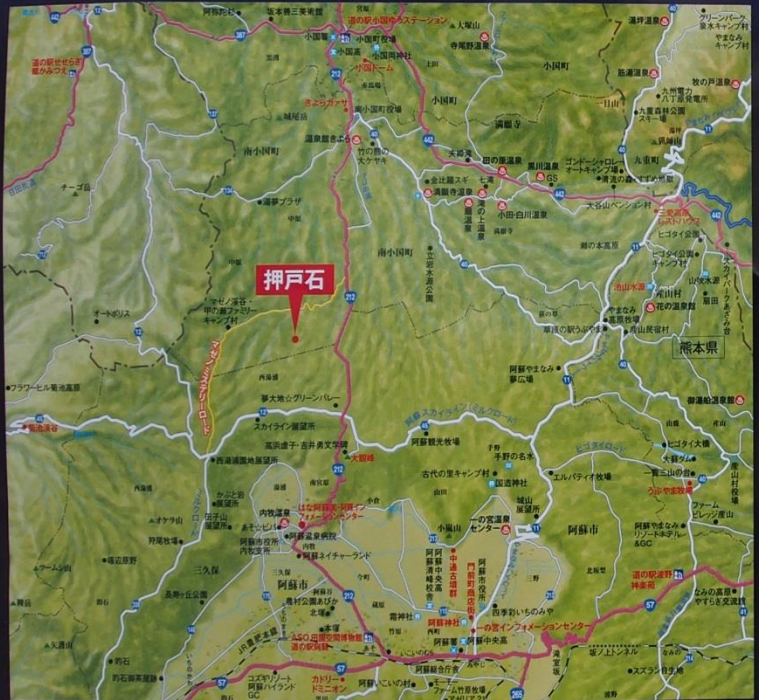
Q 鏡石などに刻まれているシュメール文字って、なんだろう？



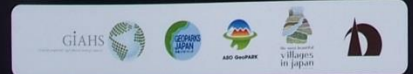
A 記号のような形をした、世界最古のくさび文字のこと。現在のイラクにあたる地域でメソポタミア文明を開いた民族・シュメール人が用いたとされています。なぜ日本から遠く離れた古代人の文字が刻んであるのかははっきりわかりませんが、九州北部や山口県でも同様のシュメール文字が発見されました。押戸石の丘には、シュメール文字が刻まれている石が他にもあります。みんなで探してみましょう！

—— シュメール文字とその意味 ——

宇宙神ベル	大地男神ケブ	男神	蛇神	聖なる牡牛
豊穡の神	大地女神	神	太陽の女神	太陽神



NPO法人 押戸石の丘
 熊本県阿蘇郡南小国町中慮511
 メールアドレス info@oshitoishi.com
 ホームページ <http://www.oshitoishi.com>



お問い合わせ: 南小国町観光協会 TEL 0967-42-1444

押戸石の丘 検索

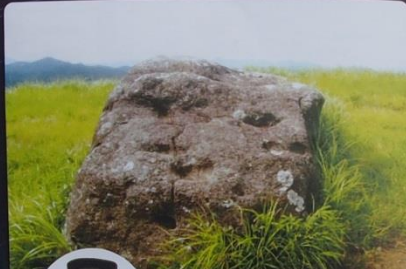
発行:公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター 平成26年度 観光庁 観光地域ブランド確立支援事業

太古のパワーを感じる、 神秘なる巨石群。



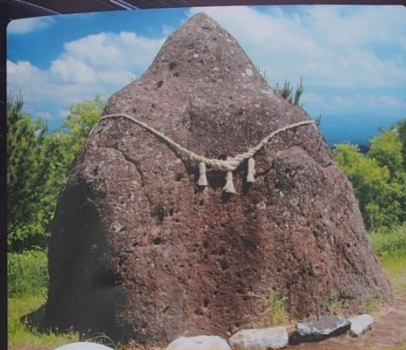
シュメール文字が 刻まれた、鏡石。

鏡石に刻まれているのは、
蛇神と神聖なる雄牛を表すシュメール文字です。
この地名は南小国町中原(なかほる)。石に刻ま
れた蛇神は「ナーガ」、聖牛は「パール」と読むこ
とから、中原という地名はシュメール文字の名
残だと考えられています。



神々に通じる、祭壇石。

夏至と冬至の太陽が昇る線上
(太陽の道)にある祭壇石。神事に
おける供え物置場(祭壇)として使用されていたと
考えられています。また、太陽の道と90°に交わる
北側の線を水の道、南側の線を火の道と言います。



不思議な磁気を 発する、押戸石。

巨石群の中心をなす高さ5.5m、
周囲15.3mの石。頂点の真北には
北極星があります。不思議なことに、この石の周囲
では磁気の働きが正常ではなく、方位磁石を近づ
けるとぐるっと回ります。また「石に登ると雨が降
る」という言い伝えや、「鬼のお手玉」という異称も
残っており、古くから人々の信仰を集めてきました。



祭壇石から、日本各地の神々へつづく道。 水の道・火の道・太陽の道

押戸石の丘にある祭壇石から、大分県の渡神岳
と福岡県の宗像大社を結んだ直線を「水の道」
と呼びます。一方、祭壇石から阿蘇山と宮崎県
の高千穂神社を結んだ直線を「火の道」と呼び
ます。これらの道は太陽の道と直角に交差して
いることから、縄文時代の渡海人が造った神の
道ではないかと考えられています。



太古から時を刻んできた、はさみ石。

石の狭間が夏至に太陽が昇り、冬至に太陽が沈む地点になっ
ていることから、この石は古代における日時計であったと言われ
ています。また「嘘つきがこの間を通ると狭まれる」という言い
伝えも残っています。



カルデラの後ろに広がる「火砕流台地」

阿蘇カルデラを作り上げた巨大噴火は、高さ数十キロまで火山灰や軽石を火山ガス
とともに吹き上げました。その後、地上に落ち「火砕流」となり、山肌を猛スピードで
流れ下り、北部九州一帯に広がりました。さらに海をホバークラフトのように滑り、遠く本州・山口県
や、四国・愛媛県でもその痕跡が見られます。厚く堆積した火砕流は、長い年月を経て侵食が進み、現
在のなだらかな波打つ大地をつくり上げました。火砕流の下部は圧力と温度でくっつき「凝灰岩」と
なったため、阿蘇カルデラの外側にはこの「溶結凝灰岩」がつくった滝や溪谷がたくさんあります。

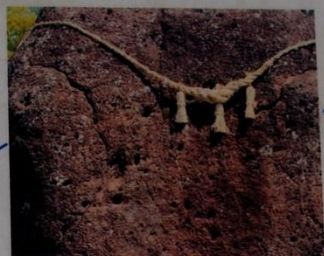


貴重な動植物や土石を
採取したりしないでください。

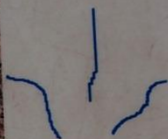
石に刻まれたシュメール文字



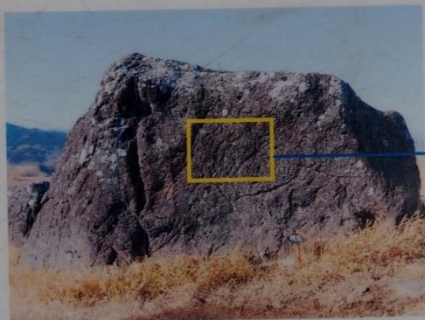
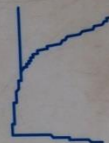
押戸石



男神



大地女神



鏡石



蛇神(ナーガ)と聖なる牡牛(バール)

注意!

希少な野生動植物を
とらないでください。

この地域で保護されている希少な野生動植物の採取等は、法律や条例により、最高1年以下の懲役又は100万円以下の罰金を科せられる場合があります。

採取等を行っている人を見かけた方は、
通報をお願いします。

【通報先】

熊本県阿蘇地域振興局 林務課

電話：0967-22-1117

または

熊本県小国警察署刑事・生活安全課

電話：0967-46-2110

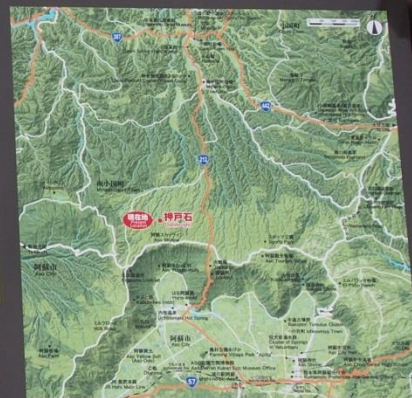
押戸石 Oshito-ishi

押戸石ジオサイト Oshito-ishi Geosite

南小国町 Minamioguni Town

大自然が生んだ、神秘なる巨石群

Mysterious megaliths, awesome work of nature



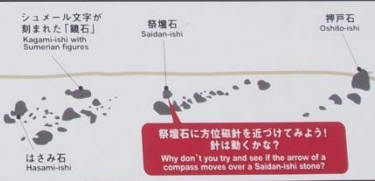
標高 845mの丘に規則正しく並ぶ巨石群は、最大のもは高さ5.5m、周囲は 15.3mもあります。中にはシュメール文字(ペトログラフ)が刻まれている石もあり、古くから地元の人々によって大切に祀られてきました。目の前には阿蘇カルデラをつくった巨大噴火による火砕流台地と、人の手によって守られてきた草原景観を遮るものなく一望できます。

The megaliths of volcanic rock are aligned regularly on a hill of 845m at altitude. The biggest stone measures 5.5m in height and 15.3m in circumference. Some of the stones have figures that are believed to be ancient script, and local people have worshiped the stones since ancient times. From this site, you can enjoy a grandstand view of undulating pyroclastic plateau of the Aso caldera formed by huge eruptions as well as vast grasslands conserved by local people.

- 注意事項 NOTICE**
- 立ち入り禁止区域や危険な場所には入らないでください。 Please do not enter off-limits or dangerous areas.
 - 動植物や土石を採取したりしないでください。 Please do not collect plants, animals or stones.
 - 動物に、おやみにエサを与えたりしないでください。 Please do not feed animals.
 - ごみはすべて持ち帰りましょう。 Please take your litter home with you.



押戸石の巨石群 Megaliths of Oshito-ishi



押戸石

押戸石

遊歩道
白旗ハルノ
ご遠慮下さい





ヨメナ(嫁菜) キク科



ヨメナ(嫁菜) キク科



カワラナデシコ(河原撫子) ナデシコ科



ウメバチソウ(梅鉢草)
ユキノシタ科



リンドウ(竜胆) リンドウ科



押戸石の丘





はさみ石

鏡石



鏡石

鏡石



祭壇石



押戸ノ石石群 (町指定名勝)

この丘陵上標高八四五米の地に「押戸ノ石」
(おしとのいし)といわれる大小の石群が
あります

最大のものは高さ五・五米 周囲十五・三米の
巨岩でピラミッド型をしています

伝説では鬼達が夜な夜なこの山でいしなご
(お手玉)をして遊んだ石とも言われています
人為とも思われる石の配置から太古の遺跡
ではないかと推定されています

大岩には約四千年前のシュメール文字が
ペトログラフ(岩刻文字)として刻まれている
他の石群と共に興味深い謎を秘めています

注意

石群地域内では車の乗り入れや掘削その他の石群に
影響を及ぼす行為は固く禁じます

南小国町教育委員会



押戸石(おしとishi)

涌蓋山(わいたさん) 1500m

九重連山





草泊まり

この地域の原野は畜産農家の採草地です。40年ほど前までは、冬の赤牛の飼料用として、秋になると竹と茅のみで草泊まり小屋を作り、一週間から10日位泊まり込みの採草作業をしていました。当時の小屋を少し大きめに再現してみました。

中の様子を体験して見て下さい。



草泊まり
この草泊まりは、昔、農家が
稲刈りや、薪割りの作業で
使われていた。この草泊まりは、
昔ながらの作り方で、一晩中
使われていた。この草泊まりは、
昔ながらの作り方で、一晩中
使われていた。

草泊まり(くさどまり)



涌蓋山(わいたさん) 1500m

九重連山



押戸石(おしといし)の丘







カワラナデシコ(河原撫子) ナデシコ科

涌蓋山(わいたさん) 1500m

